



# 広報 えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地

☎ (0462) 31-2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

\*この広報は再生紙を使用しています。



「ゆめ国体」にむけて

## 日本一へみがくワザ



▶190cmと長身の野口さん

普段の練習は、授業終了後の午後4時から8時まで、土日もほとんど休みなしでバスケット演習の毎日。好きな映画を見に行く時間もないとか…。「練習は厳しいです。でも練習したことによって自分に実力がつくので苦にはなりません」と野口さん。学校での練習のほか週1回、国体の強化選手として県選抜チームの練習にも参加しています。国体のチームは現在20人ですが、9月に12人に絞られます。

「自分がメンバーに残れるかどうかはわかりませんが、もし国体に出場できるなら、県の代表だとう意識をもつてプレーしたいです。多くのリバウンドを取ってチームに貢献したいです」。

今まででうれしかったことは、高校生ナンバーワンと言われ、6年連続インターハイで優勝の秋田県の能代工と練習試合をしたこと。「相手が強すぎて全然試合になりませんでしたけど、試合ができたことがすごくうれしかったです」と。来年もインターハイに登場して勝ち進み、打倒能代工が目標の野口さん。試合を見ている人たちを魅了するような、すばらしいシュートを期待しています。

縦28cm、横15cmのコートの中を、2チーム10人のフレーヤーが激しく動き回るバスケットボール。この競技で今年の夏のインターハイに出場し、かながわ・ゆめ国体の強化選手にも選ばれている野口直人さん(国分北在住・東海大学付属相模高校2年)がいます。

### 打倒・能代工が目標

## 新行革大綱推進計画

## 見直しました

## 感動した「若者の祭典」

## 8・8市青年の祭典

8月8日(土)、海老名中央公園で第14回海老名市青年の祭典が行われました。夕方には雨で一時中断するというハブニングもありましたが、午前11時から午後8時まで参加者たちは、思い思いに若さを表現していました。この祭典の模様を、広報モニターの伴栄子さんにレポートしていただきました。

## 中央公園・熱狂の9時間



中央公園・熱狂の9時間



中央公園・熱狂の9時間



中央公園・熱狂の9時間



中央公園・熱狂の9時間



中央公園・熱狂の9時間



中央公園・熱狂の9時間



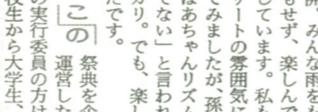
中央公園・熱狂の9時間



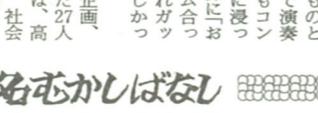
中央公園・熱狂の9時間



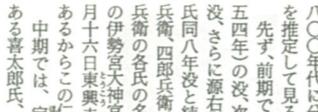
中央公園・熱狂の9時間



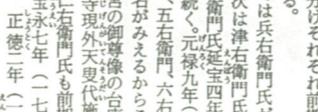
中央公園・熱狂の9時間



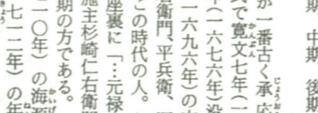
中央公園・熱狂の9時間



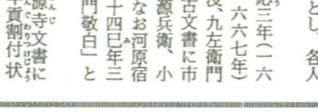
中央公園・熱狂の9時間



中央公園・熱狂の9時間



中央公園・熱狂の9時間



中央公園・熱狂の9時間



中央公園・熱狂の9時間









初めて食べた桃に感激。甘くておいしい!!ママもっとオウ(東柏ヶ谷、金子辰典・南紀さんの長女)



僕の自慢はくるくるの髪。だけどもうすぐ坊主になるんだ。(国分北、村上修二・千里さんの長男)

村上 良尉ちゃん  
1歳

まんまる赤ちゃん



いつも、大好きなお兄ちゃんのお布団と一緒に眠るんだよ。(上今泉、島田喜夫・絵里子さんの3男)



とびっきりの笑顔でハイ、ポーズ!僕はみんなの人気者!!(杉久保、飯田将之・しおさんの長男)

島田 悠人ちゃん  
1歳

飯田 将太ちゃん  
1歳2ヶ月

このコーナーに掲載を希望する方は…  
電話で広報広聴課(内271)に申し込んで下さい。ただし、申し込み時点で1歳未満の赤ちゃんに限ります。  
なお、申込数が多く掲載できない場合もあります。



▲僕たち給食大好き!!

7月29~31日、市役所ロビーで給食展が開催され、市役所に訪れた人は給食の献立などの写真の展示に足を止めていました。



自然を舞台に遊んだ学んだ

楽しい仲

55歳以上の野球チーム  
海老名クラブ



完成したかなべえを前に記念撮影

マイケル・ジョーダン、ダンクショットの応酬…。  
ここ数年、日本でも脚光を浴びているバスケットボール。その華やかなプレーを

支えるのは、素質以上に練習と情熱、ということを野口さんを取材して納得しました。完成記念の撮影後、飲んだビールは格別おいしかった、とのこと。今後の活動も楽しみです。

編集後記

支えるのは、素質以上に練習と情熱、ということを野口さんを取材して納得しました。完成記念の撮影後、飲んだビールは格別おいしかった、とのこと。今後の活動も楽しみです。



▲水しぶき空高く

海老名・社家小学校で行われた親子水泳教室では、計41人の親子が参加。最終日には全員が泳げるようになっていました。



▲肌で感じた農業体験

8月5・6日、小学6年生が市内農家の協力で、酪農やハウス栽培などの農業を体験。「牛って大きいけど、やさしい目をしているね」の声も。

▼中学生がボランティア体験

7月28~30日、市内中学生11人が、中心荘(上今泉)でボランティア体験。参加者もお年寄りもお互いに楽しいひとときを過ごしました。



▲施設を通して海老名再発見

8月6日、市内施設めぐりが行われ、相模大堰や資源協同組合など、4カ所の施設を見学、38人の参加者は施設の人たちの話に聞き入っていました。



8月1日、富士ふれあいの森でカヤック教室が開催され、参加者は初めてのカヤックの操縦に、悪戦苦闘しながらも大自然を満喫しました。

ジャンボかなべえを作成

長さ12㍍、幅15㌢の竹製「かなべえ(かながわ・ゆめ)」が、市役所東側の警察署建設地にマスクット写真)が、以来、道ゆく人たちからは「ジャンボかなべえ」の名で親しまれています。

この「かなべえ」を制作したのが、熟年野球チーム「海老名クラブ(坂本孝之監督31人)」の面々。結成は3年前、55歳以上であることを条件に、現在主将を務める長谷川正春さんが呼び掛けたところ、元野球少年や少年野球の指導者などが次々と参加しました。その後毎回、主に社家小学校グラウンドで練習を続け、やがて近隣市の同年代野球チームと交流試合を…。時間の経過とともに、対戦相手も試合数も増え、今年1月には市野球協会に加盟しました。

「若い頃は勝敗にこだわるが、この年になると純粋に